

出向く宮農レポート

瀬戸市三国山地区 キャベツ編

目指せ
三国山ブランド



瀬戸地域担当
水野大輔



瀬戸地域担当
伊藤昌孝

中山間地域である三国山の気候を活かし、9月中旬まで出荷できるキャベツ栽培に取り組んでいます。



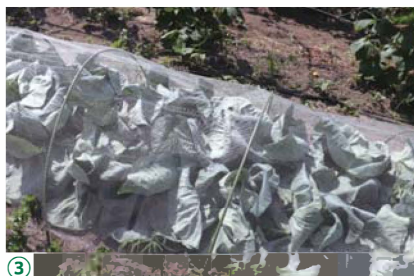
①

①生産者の一人である横道さんの畑では約350株のキャベツを栽培しています。定植した6月下旬は害虫が多く発生する時期で、対策としてすべての畝に防虫ネットをかけました。

②散布した農薬が効いているかしっかりと確認します。追肥が遅れると割れてしまうため、キャベツの葉が巻き始めたころに最後の追肥を行います。



②



③



④

③もう一人の生産者 熊谷さんの畑も防虫ネットをかけて約250株を栽培しています。

④熊谷さんに防除の依頼をしたところ、どの農薬を散布すればいいのか相談を受けました。前回散布した農薬成分を確認し、前回とは違う成分の農薬散布を提示しました。(前回:アフーム乳剤→今回:コテツフロアブル)

キャベツの防除

アオムシ・コナガなどのチョウ目の場合

●コテツフロアブル

散布液量…10アールあたり100～300ℓ
使用時期…収穫前日まで
使用回数…2回以内
希釈倍率…2000倍



アブラムシ類の場合

●マラソン乳剤

散布液量…10アールあたり100～300ℓ
使用時期…収穫前日まで
使用回数…5回以内
希釈倍率…2000～3000倍



⑤

⑤どちらの畑でも外葉が大きく育ち、中心が巻き始めました。この中心に虫が入らないよう防除をすることで、きれいなキャベツになります。

今回ご紹介したキャベツは9月上旬から瀬戸グリーンセンターで出荷が始まっています。三国山ブランドの第一歩となるキャベツをぜひ買い求めください。秋冬作では葉にちりめんの入ったサボイキャベツを出荷予定です。お楽しみに!

※農薬の在庫や販売価格については各グリーンセンターへお問合わせください。(P24記載)